

議 事 要 旨

名 称	第3回松山市車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会
開催日時	令和7年3月17日(月) 15:30～17:10
開催場所	松山市役所本館5階 本部会議室(オンライン併用)
出席者	出席者名簿のとおり(4ページに掲載)
次 第	1. 開会 2. 議事 (1)第2回検討会以降の状況 ①ワークショップ報告 ②アンケートの結果報告 (2)第2回検討会の意見と論点の整理等 ①施設の機能分担について ②車両基地跡地の新施設について (3)今後について 3. 閉会
議事内容	(1)第2回検討会以降の状況 【事務局】(資料1 第2回検討会以降の状況を説明)。 ①ワークショップ報告 【事務局】(資料2 第2回及び第3回のワークショップの内容と意見を説明)。 ②アンケートの結果報告 【事務局】(資料3 アンケートの内容と結果等を説明。) ※質疑等なし (2)第2回検討会の意見と論点の整理等 ①施設の機能分担について 【事務局】(資料4－① 第2回検討会の意見と対応方針を説明し、アリーナとホールの併設、市民会館機能の確保の2つの論点について意見交換)。 ⇒各委員からの主なご意見・ご助言 ・ホールは他の場所を含めて、幅を広げて検討する必要があるのではないかと。 ・市民会館はいい場所にある。現在の場所で改修する可能性があるなら、継続利用し、その間に文化施設について、いろいろ検討できるのではないかと。 ・Bリーグの本拠地としてのアリーナを反対する理由はない。 ・アリーナと分けて文化施設を別途検討するのは賛成。

- ・今の市民会館にない機能も含めて文化施設を考えていくこと、文化的な空白期間を作らないことが大事。
- ・要望活動など市民の動きを取り入れて市民会館の議論を継続して欲しい。
- ・アリーナとホールの機能は別のもので、分けて考えるのは賛成で、文化ホールの場所は、車両基地跡地にこだわりのない。
- ・アリーナに100席の小ホールだけ残されても、使い勝手が悪くなるのが懸念され、市民会館の代替機能を別に検討する中で、まとめて検討してもらいたい。
- ・基本構想の中の文化ホールの機能は別で検討することを、基本計画に記載して欲しい。
- ・ホールのワークショップも継続してもらいたい。
- ・市民会館機能は別で考えるとして、ワークショップでいろいろ頂いている、ホールに関する意見をないがしろにしないようにして欲しい。

【事務局】

(車両基地跡地の活用方針を回答。)

- ・平成27年策定の基本構想を整理し直し、車両基地跡地はアリーナ整備を主体に検討していきたい。

(市民会館の老朽化調査とカメラリアホールの改修状況を説明。)

- ・今回の老朽化調査で、鉄筋コンクリートなどの躯体は、令和18年度まで使用できる可能性があるものの、設備類の大部分は改修が必要と分かってきた。
市としては、できるだけ長く使いたいと考える一方、継続的に使用するには、修繕計画を立て、費用対効果や改修の有無を検討する必要がある。
また、史跡内に施設があるため、改修内容によっては、文化庁の許可も必要になり、総合的に判断していきたい。
- ・また、今後の文化施設の考え方として、松山市総合コミュニティセンターにあるカメラリアホールは、1,000 席規模の文化施設で、大規模改修を予定している。
1階はロールバック式の多目的ホールで、シートやホール内のカーペットを全面張替し、トイレの洋式化なども検討している。
特に音響面は、より高音質な環境を整え、省エネ効果を考慮し、舞台照明のLED化を検討している。

②車両基地跡地の新施設について

【事務局】(資料4—② 第2回検討会の意見と対応方針を説明、
資料5 現時点で市が目指す施設のイメージを説明し、施設の主な利用方法、施設の規模、選ばれる施設になるための特徴、日常的な賑わいを創り出す取組の4つの論点で意見交換。)

	⇒各委員の主なご意見・ご助言 ・体育館はスポーツを行う場所である一方、アリーナは今までにない場所づくり、新たな装置である。地方の若者流出を止め、まちの賑わいを創っていくには、そうした新しいまちの装置が必要。 ・地域の防災拠点として、これまでにない防災機能も重要。 ・都市間競争はあるが、松山で自分たちの文化やコンテンツを絡めてアリーナづくりをするのが大事。 ・同程度規模のアリーナは全国にたくさんできてくる。その中で、松山らしい特徴を備えたアリーナをどのように造っていくかが大事。 ・スポーツはどうしても週末の利用が多く、平日の利用や県外の人がいかに使えるか検討していきたい。 ・施設を造るのではなく、コンテンツをみんなで考えて育てていくのが大事。 ・イベントがない日でも来てみようという機能が必要で、1階部分を上手く使って欲しい。 ・この場所が緑のコアの役割を担う可能性にも期待したい。 ・検討会では、Bリーグ基準以上の5,000席以上のアリーナを目指すとともに、市民が集い、日常的に使える施設として検討を進めること、また民間事業者にも提案を求めていく方向と考える。 (3)今後について 【事務局】(資料6 今後の検討会の進め方を説明。) ⇒全体を通して各委員の主なご意見・ご助言 ・地元企業がしっかり参画していくのが大事。運営に関わる、まちづくりを考える、コンテンツを考えるなど、それぞれの参画がある。ぜひ官民が連携して取り組んで欲しい。 ・計画を固め過ぎると応募できなくなる事業者もいるので、基本計画は柔軟性を持って作った方がいい。
--	--

松山市車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会 出席者名簿

(敬称略)

所属・役職			氏名
1	有識者	愛媛大学社会共創学部 学部長	松村 暢彦
2		東京都立大学 客員教授	山本 康友
3		東京大学大学院 工学系研究科 特任研究員	菊池 雅彦
4		株式会社ブルーモーメント 代表	田山 順一
5		AC Bright Lab 合同会社 代表	千葉 昭浩
6	関係団体	松山市文化協会 会長	土居 英雄
7		公益財団法人 愛媛県スポーツ協会 常務理事	豊島 吉博
8		松山商工会議所 事務局長 ※代理出席	中矢 斉
9		四国旅客鉄道株式会社 愛媛企画部 部長	窪 仁志

オブザーバー	愛媛経済同友会 幹事 ※代理出席	正岡 尚起
	NPO 法人シアターネットワークえひめ 理事	郡司島 宏美
	公益財団法人 松山観光コンベンション協会 専務理事	家串 正治
	社会福祉法人 松山市社会福祉事業団 常務理事	矢野 博朗